

<日本史探究③⑤> 平安時代⑥ 教科書:P.72~P.80

① 武士の成長

① 9c末から10cにかけて地方政治が大きく変化していく中で、地方豪族や中央に帰らずそのまま現地に残った国司の子孫らは、勢力を拡大しようと頻繁に争いをおこすようになる。その鎮圧のために、政府が派遣したのが(1.)や(2.)である。

② 1や2には、身分の低い中・下級貴族が任じられ、そのまま在庁官人(㊤)などになって現地に残り、有力な(3.) [=4.]となる者が現れた。3とは元々は朝廷に武芸をもって仕える武官を指し、9c末以降に宮中を警備するために設置された(5.)が3の原型とされる。

(1) 9c末頃、宮中警備のために設置された武士は? ()

③ 彼らは、(6.)などの一族や(7.) [=]などの徒者を率いて、自分たちの勢力を拡大していき、ときには国司などにも反抗するようになった。やがてこれらの武士は(8.)という連合体をつくり始めた。

(1) 平安後期、武装化した地方領主を中心にまとまった武士の連合体のことを? ()

④ 地方に成長した8は、中央貴族の出身者を(9.)と仰いで、8の中心に置いた。9には<10. >の子孫である(11.) [=10の曾孫である<12. >が平の姓を賜って11の祖となった]や、<13. >の子孫である(14.)がなっていく。

(1) 大武士団の統率者の代表的な例で、桓武天皇の流れをくむのは? ()
(2) 大武士団の棟梁の例で、清和天皇の流れをくむのは? ()

⑤ 関東に土着した11の一族で、(15.)を根拠地とした<16. >は、一族と争いを繰り返し、常陸[茨城]・下野[栃木]・上野[群馬]の国府を攻め落とし、東国の大半を占領して「17. 」と自称した。しかし、この16の乱は、同じ東国の武士でいっとこの<18. >や下野(1)の<19. >が鎮圧した。

⑥同じ頃、もと(20.) [愛媛]の国司であった<21. >も、瀬戸内海^{瀬戸内海}の海賊を平定したのに十分な恩賞がなかったことに腹を立て、逆に自ら海賊を率いて反乱をおこした。20の国府や大宰府を攻め落としたが、941年、(14.)の祖である<22. >と(2.)の<23. >によって滅ぼされた。16の乱と21の乱を当時の年号をとって(24.)といふ。

- (1) 939年、下総国の猿島^{さしかじま}を拠点とし、中央政府からの独立を図って反乱を起こした人物は？ ()

(2) もと伊予国司で瀬戸内海^{瀬戸内海}の海賊を率いて反乱を起こした人物は？ ()

(3) (2)の乱を鎮圧した人物の1人で、清和源氏の祖となった人物は？ ()

2 清和源氏の勢力拡大

① このあと、10c後期には③②でも出てきた(25.)が起こった。25で、22の子の<26. >は、左大臣<27. >の陰謀の疑惑を密告し、27は左遷されることになった。その後、藤原氏全盛の時代となったので、源氏はこの功績をたたえられて、源氏は藤原氏のもとで(28.)として力を持つようになる。

② 26の子の<29. >は、摂関家に奉仕して保護を受け、11cには、現在の千葉県中部の(30.)から房総半島に広がった(31.)(1028~31)を鎮圧した。この結果、源氏が(32.)へ進出することとなった。

③ さらに、29の子の<33. >は、1051年から1062年にかけておこった、陸奥^{むつ}の豪族(34.)氏の反乱である(35.)を、子の<36. >と共に鎮圧した。その際、33は(37.)の豪族(38.)の助けを借りて35を平定したので、以後38が東北で勢力を持つようになった。

- (1) 1051年に陸奥でおこり、前後12年におよんだ戦いを？ ()

(2) (1)を平定した父子は？ ()

(3) (2)を支援し、(1)を平定した出羽の豪族は？ ()

※ 九州にも武士団があった！

1019年に起きた(39.)で、大宰府の役人だった<40. >は、九州の武士を指揮して(41.)の侵入を撃退した。

④次に、1083年から1087年にかけておこった(42.)では、安倍氏に代わって陸奥・出羽両国を支配した(38.)一族の内紛を、源頼義の子の<36. >が<43. >を助けて鎮圧した。この結果、43は(44.)を拠点に東北全域を支配するようになり、(45.)を開く。36はこの合戦を通じて東国への地盤を固めた。

- (1)1083年におきた、清原氏の一族の内紛から始まった戦いを？
()
(2)(1)を平定し、関東の武士の信望を集めた人物は？ ()
(3)(1)の後、奥羽地方で勢力を強め、やがて平泉に拠点を移した人物は？
()
(4)11cから12cにわたって東北で絶大な権力を持った(3)とその子孫のことを？
()

③院政の開始

①こうした武士の力に目をつけた<46. >は、成長が著しい武士を登用し、父の<47. >(44)にならって親政をおこなった。(48.)年に子の<49. >に位をゆずって、(50.)〔51. 〕として(52.)を開き、天皇を^{つひ}後見しながら政治の実権を握る(53.)を始めた。

- (1)後三条天皇の次に即位した天皇は？ ()
(2)(1)は幼少の堀河天皇に位を譲るが、譲位後の天皇のことを？ ()
(3)(2)として天皇を後見しながら政治の実権を握る政治形態を？ ()

②53を行う50は(54.)と呼ばれ、52を置き、50の命令を伝える文書である(55.)や52から出される(56.)などを発して政務を執った。
后妃・乳母^{つひ}の一族や(57.)などは、50の側近である(58.)となり、52の職員である(59.)となったり、諸国の(60.)に任じられたりした。

③また、50は、軍事力も持った。<61. >は、院の御所を警備するために(62.)を置いた。

4 院政期の社会

①最高権力者である(50.)には荘園の寄進が集まったため、寄進地系荘園から納められる年貢が経済基盤になった。院の荘園群には、鳥羽上皇が娘に譲った(63.)や後白河法皇が寺院に寄進した(64.)がある。それぞれ鎌倉末期には、大覚寺統・持明院統に継承され、その経済的基盤となった。

(1)鳥羽上皇が第3皇女に譲った荘園群で、最終的に220ヶ所にのぼったのは？
()

②また院政期には、上級貴族や大寺院をある国の(65.)に任命し、その国の公領からの収益を得させる(66.)の制度が広まった。66の受領には65の近親者や側近がそのまま任命されて、66を支配した。そして、上皇は自ら65となって(67.)という66を持ったので、この66も院政の経済基盤の一つとなった。

(1)上級貴族や大寺院に国を与え、その国からの収益を得させるという、院政期に広まった制度を？
() (の)制度

③また、上皇たちは出家して(68.)となるなど、厚く仏教を信仰し、<69. >天皇の(70.)を初めとする(71.)を建立し、(72.)や(73.)をくり返した。

(1)白河天皇が京都に造営し、壮大な堂塔を誇った寺院は？ ()
(2)(1)など、天皇家によって院政期に造営された寺を総称して..？ ()

④こうした仏教保護のもとで、大寺院が荘園の寄進を集めて勢力を拡大すると、自らを守るため武装化する(74.)が朝廷に(75.)して、荘園の権利などをめぐる主張を通そうとした。(76.) [興福寺]の74は、(77.)の(78.)をがついで75し、(79.) [延暦寺]の74は、(80.)の(81.)をがついで75した。この75を鎮圧するために武士を用いたことで、武士の中央政界への進出をまねくことになった。

(1)上皇が出家した場合、これを何という？ ()
(2)平安後期に登場した京都・奈良の大寺院の武装した者を？ ()
(3)(2)が主張を通そうと神木や神輿をおしたてるなどして、訴えをおこすことを？ ()